

MLBにおいて、初めてカラーラインが破られたのは、1947年のことである。

黒人初のメジャーリーガーとなるジャッキー・ロビンソンは、ジョージア州で生まれた。運動神経抜群だった彼は、UCLA（カリフォルニア大学ロサンゼルス校）で野球やフットボールなどをやっていた。当時のMLBは、完全に白人世界であった。しかし、ブルックリンドジャース（現LAドジャース）の会長ブランチ・リッキーが「予想される弊害に耐えうる根性の持ち主」としてジャッキーを見つけ出し、契約を結んだのである。ジャッキーは、この年創設されたばかりの新人王を獲得した。後に、新人王はジャッキー・ロビンソン賞とも言われる。



【Retired Number METRODOME】

人種差別と闘った彼の苦労は、輕輕と語ることはできない。はっきりと言える事は、彼の存在が、MLBだけでなくアメリカのスポーツ全体、さらには公民権運動が始まりつつあった当時のアメリカ社会にも、大きな影響を及ぼしたということである。

50年後の1997年、彼の活躍に敬意を払い、彼の背番号42は、メジャーリーグ全球団で永久欠番になることが決定した。

3 おわりに

日本に向かう帰りの飛行機の中で「The Rookie」という映画を見て泣いた。どうやら日本では、2003年の1月に「オールド・ルーキー」という名前で上映されるらしい。35歳でMLBデビューを果たした実在の選手、ジム・モリスの半生を描いた秀作だ。どんな障害があろうとも夢を追いつづけることの大切さ、それを支えるかけがえのない家族愛、そして野球を愛するアメリカ人の魂が、私の心を強く掴んだ。

2002年ポストシーズンの現在、サンフランシスコ・ジャイアンツとアナハイム・エンジェルスの間で、世界一の夢を追うワールドシリーズが行われようとしている。その昔、私が初めてMLBを観戦したアナハイムのエジソン・フィールドで、ワールドシリーズが行われることに感激している。できれば、その当時から活躍しているエンジェルスの主砲ティム・サーモン選手に幸多からんことを。また、今回の旅行中、私の差し出したボールに快くサインをしてくれた、ジャイアンツの守護神ロブ・ネン投手に栄光あらんことを。

*1 現在のナゴヤ球場（名古屋市中川区）1996年まで中日ドラゴンズの本拠地だった。

*2 元中日ドラゴンズ選手（1974年沢村賞）現阪神タイガース監督

*3 中日新聞（2002年10月1日朝刊16面）第2位はサッカー選手、第3位はお店屋さん

*4 布袋小学校6年生男子児童71名対象（2002年度）第2位は中田英寿（プロサッカー選手）

*5 中日新聞（2002年10月12日朝刊20面）第2位はオーストラリア、第3位はフランス

*6 MLB史上最大のスキャンダル。ワールドシリーズで圧倒的有利と見られていたシカゴ・ホワイトソックスの選手8人が賄賂を受け取り、相手にわざと負けたというもの。

*7 ナショナルリーグとアメリカンリーグの優勝チーム同士が、世界一の座をかけて毎年ポストシーズン（レギュラーシーズン後）に7回戦を行う人気イベント。